# 石榑の里コミュニティ　H26年度
# 2学期の活動をご紹介します。

## ＜　全国各地から視察受け入れ ＞

10月8日（水)、岡山県瀬戸内市邑久（おく）地区民生児童委員協議会が視察研修に訪れました。少子化による小学校の統合や高齢化が進む邑久地区。安心して子育てできるまちづくりや、高齢者を地域ぐるみで支えるまちづくりを目指し活動されている委員の皆さんが石榑の里コミュニティに注目されたのは、多くの住民がかかわる学校支援活動と、この活動が地域の活性化に繋がっているという点です。その礎となる学校建設のワークショップ、地域ゾーン、運営組織など、様々な質問が飛び交いました。2学期はその他にも志摩市教育委員会、松阪市教育委員会、名古屋市立工芸高等学校、総務省など多くの視察を受け入れました。



## ＜ 学習田の刈り取り ＞

10月3日（土)、黄金色に実った稲を刈り取りました。総合学習で米作りに取り組む5年生が、5月の田植えに始まり、田の草取り、水の管理、畔草刈など、保護者や地域ボランティアの支援・指導を受けながら育ててきました。この日は鎌を使ってひと株ずつ刈り取り、はさに掛けました。2週間ほど天日干しし、子どもたちの手により脱穀。収穫したもち米は11月9日（日）の「石榑の里まつり」で5年生がつき上げ、あんころ餅やおろし餅にして来場者に振舞いました。

## ＜秋の砂山ハイク ＞

10月4日（土)、恒例の砂山ハイキングを実施しました。砂山は整備された遊歩道、展望台からの素晴らしい眺め、沢山の種類の広葉樹など、ハイキングにはぴったりの山です。道中、見たこともない鳥の羽や蛍石を発見するなど子どもたちは大喜び。山頂展望台からさらに奥へ、竜ヶ岳を真近に望める地点まで足を延ばし“プチ登山”も体験しました。また地元NPO「竜の森保全会」が遊歩道に自生する木々に名札をつけるイベントにも参加。ネジキ、シロモジ、タカノツメなど木々の特徴を教えてもらいながら一つ一つ名札を結び付けていきました。



## ＜ 通学路のグリーンベルト ＞

小学校から東へ約1kmの道路は道幅が狭く、見通しも悪いため登下校時等の交通事故が心配されています。少しでも安全にと、歩道部分を緑色に着色していただきました。学校、里コミュニティも緑色内を歩くように指導しますが、地域の皆様も危ない行動がありましたら注意してあげて下さい。ドライバーの方もご協力をお願いします。



## ＜ 石榑の里まつり ＞

11月9日（日)、新校舎完成10年目の節目となる年に、NHK『おはよう東海』でキャスターとしてご活躍の石榑亜紀子さんや、地域づくりに関わる団体の方々を全国からお招きし、第8回石榑の里まつりが盛大に開催されました。朝からあいにくの雨模様でしたが、石榑さんが登場されたとたん会場は華やぎ“お天気”に！　来場者や児童への最高のプレゼントとなりました。昨年を上回る1200人もの方が来場しどの会場も熱気いっぱい、各所で様々な交流が行われました。



## ＜ 連凧大空へ舞い上がる ＞

11月27日(木)、自治会長さんらの支援で300機の連凧が揚げられました。石榑の里まつりに向けて自治会と子供会が共同制作し、里まつりでは体育館に飾れた連凧。大字ごとに分けられた4隊が、北風に乗って大空へ吸い込まれるように舞いあがっていくと、大歓声が沸き起こりました。強風のなか凧を操作していただいた自治会長の皆さまありがとうございました。



石榑の里コミュニティのホームページでも活動を紹介しています。　http://www.inabe.ed.jp/ishigure-c/